

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	リニア推進課	事業No.	34
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H10	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		13	リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画				
法令・例規等	道路運送法				
	道路交通法				
	地域公共交通活性化再生法				
事業目的	対象	市民			
	意図	市民の地域公共交通利用			

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)		
	・交通弱者等の移動手段を確保するため市民バス9路線、乗合タクシー14路線の運行支援を行いました。飯田市地域公共交通改善市民会議や南信州地域交通問題協議会と連携し、運行に関する改善や利用促進PR活動を行いました。持続可能な地域公共交通構築検討会準備会を開催し、持続可能な地域公共交通システムの構築・運用に関する研究を進めました。市民バス循環線においてEVバス1台の運行実証を行いました。 ・リニア駅とJR飯田線の接続も含めた飯伊地域における二次交通の在り方や導入モビリティの検討、MaaS等に関する研究を進めました。 ・交通事業者へのコロナ感染防止対策支援を行いました。	一般乗合旅客自動車運送事業補助金				142,593			
地域公共交通改善市民会議負担金				3,136					
南信州広域連合負担金(南信州地域交通問題協議会)				1,535					
EVバス運行実証				70					
新たなモビリティの研究				9					
地域公共交通改善市民会議委員報酬ほか				166					
新たなモビリティの検証				9,845					
バス・タクシー感染症拡大防止支援金				10,020					
その他の経費				0					
活動指標		指標名(数値で表せる活動量)	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	運行支援する市民バス路線数	路線	9	9					
	運行支援する乗合タクシー路線数	路線	14	14					
	地域公共交通改善市民会議開催数	回	2	2					
	EVバス運行実証台数	台	1	1					
	バスの年間延べ利用者数	人		269,963					
	乗合タクシーの年間延べ利用者数	人		15,369					
3年度決算(千円)	予算額	172,222	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額	167,374	(国) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金						
	財源の状況	国庫支出金	10,020	(地) 過疎対策(充当率100%)					
		県支出金	0	(そ) 地域振興基金利子 8,178千円					
		地方債	40,600	(そ) ふるさと寄附金 2,896千円					
		その他	11,074						
一般財源	105,680								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	15	1	172,222	167,374	市民バス等運行業務費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		リニア中央新幹線の開業に向けて広域二次交通の整備や新たなモビリティ(自動運転、MaaS、EV等)活用の検討、二次交通の在り方も踏まえてリニア駅とJR飯田線との接続方法についての検討が必要です。公共交通の利用者数が減少傾向であり新たな利用者の掘り起こしや、運転に不安を持つ高齢者が自家用車に依存しなくても生活ができる環境の整備が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		伊那谷自治体会議との連携をはかりながらリニア駅との望ましい二次交通の在り方についての検討や新たなモビリティについての研究が必要です。持続可能な公共交通の構築に向け、交通事業者・市の関係部が一体となった課題・問題の共有が必要です。							
次年度に向けての取り組み		伊那谷自治体会議と連携し二次交通の在り方について検討するとともに、新たなモビリティについての研究を進めます。持続可能な公共交通の構築に向け、福祉有償運送事業を含む交通事業者と市の関係部が一体となり課題・問題を共有し、生活交通の在り方全般について協議を進めます。							